

平成24年3月

山岳遭難事故発生状況  
(平成23年)



静岡県警察本部

地域部地域課

## 1 概況

平成 23 年中の山岳遭難事故は、発生件数 79 件、事故者 89 人（死亡 6 人、行方不明 5 人、重傷 10 人、軽傷 20 人、無事救出 48 人）であった。

区分 年別	(件) 発生件数	事 故 者 総 数 (人)					
		総 数	死 亡	行方不明	重 傷	軽 傷	無事救出
平成23年	79件	89人	6人	5人	10人	20人	48人
平成22年	78	98	9		7	22	60
増 減	1	-9	-3	5	3	-2	-12

## 2 山岳遭難事故の特徴

平成 23 年中に発生した山岳遭難事故の主な特徴は、次のとおりである。

- (1) 統計の残る昭和 48 年以降最多であった平成 21 年は下回ったが、依然として厳しい状況である。
- (2) 山系別では、富士山が全体の 6 割に当たる 47 件（前年対比－1 件）を占めたほか、南アルプスでも 11 件（前年対比－1 件）とわずかに減少した。
- (3) 登山者が集中した 7 月（18 件）、8 月（31 件）の 2 ヶ月間で全体の 6 割（49 件）を占めた。

富士山・南アルプス以外の低山では、年間を通じて遭難事故が発生した。

- (4) 目的別では、夏期における富士山への観光登山が 34 件（43%）と最多であり、その多くが装備や体力等の準備不足や山小屋を利用しないこと等が起因したと思われる高山病や疲労による遭難であった。

※ 夏期とは 7～8 月の 2 ヶ月間をいう。

- (5) 態様別では、道迷いが 22 件と最多で、次に転倒が 15 件であった。

富士山では体力不足からの疲労や登山知識不足による高山病、照明具を携行せずに日没を迎え救助要請するなど事故者本人に起因する遭難事故が多発した。

- (6) パーティー別では、死亡・行方不明者 11 人全員が単独登山であった。
- (7) 曜日別では、土曜 15 件（19%）、水曜 12 件（15%）と昨年引き続き分散化の傾向がますます顕著になった。
- (8) 年齢層別では、全国的には 40 歳以上の中高年登山者の遭難が 76.0%（平成 22 年中）を占めている中、本県においては、中高年登山者の割合は、全国平均を大きく下回る 58%であった。特に富士山では若年者（40 歳未満）の遭難が目立った。

(9) 居住地別では、全体の 70% (62 人) が外国人 3 人を含む県外居住者、30% (27 人) が県内居住者であった。

観光登山の多い富士山においては、県外者と外国人の事故が全体の 87% (45 人) を占めた。

(10) 男女別では男性が 83% (74 人) を占めた。特に、死者・行方不明者 11 人のすべてが男性であった。

(11) 平成 23 年中に警察本部へ提出された登山計画書は 486 通で、うち 365 通はツアー登山であった。また、79 件の遭難事故のうち、登山計画書が提出されていたのは 8 件 (10%) であった。

### 3 事故防止対策

過去 3 年、山岳遭難事故は 80 件前後と高水準で発生しており、特に夏期の富士山では、毎日のように発生している状況にある。

富士山は世界文化遺産登録を控え、世界的に注目を浴びており、今後登山者増加が見込まれることから、関係機関がより連携し、山岳遭難事故防止対策を強力に推進していかなければならない。

1 年別発生状況

年別	区分 (件) 発生件数	事故者総数(人)					
		総数	死亡	行方不明	重傷	軽傷	無事救出
平成14年	32件	40人	4人	1人	8人	11人	16人
平成15年	35	51	1		3	22	25
平成16年	53	61	7	2	7	21	24
平成17年	29	36	7	2	3	13	11
平成18年	37	49	1	2	3	19	24
平成19年	40	45	4	1	4	15	21
平成20年	65	76	12		10	18	36
平成21年	82	147	12	5	12	23	95
平成22年	78	98	9		7	22	60
平成23年	79	89	6	5	10	20	48

2 山系別発生状況

山系別	区分 (件) 発生件数	事故者総数(人)						
		総数	死亡	行方不明	重傷	軽傷	無事救出	
計	79件	89人	6人	5人	10人	20人	48人	
富士山	富士宮口	26	29			1	12	16
	須走口	5	5	1		1	3	
	御殿場口	12	14			1	2	11
	その他	4	4	2				2
	計	47	52	3		3	17	29
南アルプス	荒川岳	2	2				1	1
	聖岳	6	6	1		5		
	その他	3	3		2		1	
	計	11	11	1	2	5	2	1
天城山系	3	3	1				2	
愛鷹山系	2	2			1	1		
安倍山系	8	11	1	2			8	
奥大井山系	1	1					1	
北遠山系	1	1					1	
その他	6	8		1	1		6	

※ 富士山において47件(59%)が発生

### 3 月別発生状況

区分 月別	発生 件数	死亡	行方 不明	負 傷		無事 救出	山系別発生件数		
				重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計	79件	6人	5人	10人	20人	48人	47件	11件	21件
1 月	2			1		2			2
2 月									
3 月									
4 月	7	2		1	2	3	3		4
5 月	4			2	1	1	1	1	2
6 月	3		1			2	1	1	1
7 月	18	2	2	2	6	7	13	3	2
8 月	31	2		3	10	17	24	6	1
9 月	6				1	10	3		3
10 月	3					4			3
11 月	2		1			1			2
12 月	3		1	1		1	2		1

※ 7・8月に49件（62%）が集中して発生

### 4 目的別発生状況

区分 目的別	発生 件数	死亡	行方 不明	負 傷		無事 救出	山系別発生件数		
				重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計	79件	6人	5人	10人	20人	48人	47件	11件	21件
登山	31	4	3	8	6	11	11	10	10
観光登山	34	2		1	14	22	34		
ハイキング	8			1		10			8
溪流釣り	1		1					1	
写真撮影	2					2	1		1
業務	1					1	1		
その他	2		1			2			2

※ 富士山への観光登山が34件と最多

5 態様別発生状況

区分 態様別		発生 件数	死亡	行方 不明	負 傷		無事 救出	山系別発生件数		
					重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計		79件	6人	5人	10人	20人	48人	47件	11件	21件
道 迷 い	地理不案内	15				1	18	4	1	10
	天候悪化	3					3	2	1	
	その他	4				1	4	3		1
転 倒	つまずき	7			1	6		5	1	1
	スリップ	7			1	5	1	6	1	
	その他	1			1				1	
発 病	高山病	8					8	8		
	その他	4	3				1	3		1
疲 労		8				4	5	8		
滑 落		8	2		5	1		4	4	
転 落		2	1		1					2
落 石		1			1			1		
不 明		5		5					2	3
そ の 他		6				2	8	3		3

※ 道迷いが22件と最多

6 パーティー別発生状況

区分 パーティー別		発生 件数	死亡	行方 不明	負 傷		無事 救出	山系別発生件数		
					重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計		79件	6人	5人	10人	20人	48人	47件	11件	21件
単 独		40	6	5	3	8	18	22	5	13
2 人		19			2	4	19	11	2	6
3 人		3			1		3	1		2
4 人		9			1	5	6	8	1	
5 人		4			2		2	3	1	
6 ~ 9人		0								
10 ~ 19人		1				1			1	
20 ~ 29人		2			1	1		1	1	
30人以上		1				1		1		

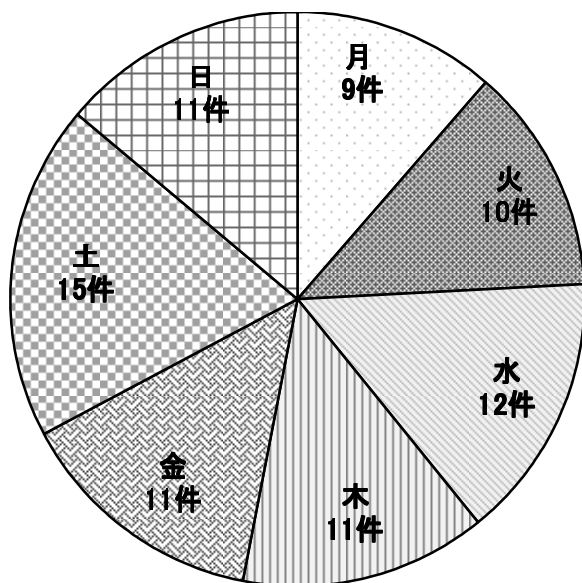
※ 死亡・行方不明の11人がすべて単独登山で遭難

7 警察署別発生状況

年別 署別	平成23年				平成22年				前年対比			
	発生 (件)	死亡 (人)	負傷 (人)	救助 (人)	発生 (件)	死亡 (人)	負傷 (人)	救助 (人)	発生 (件)	死亡 (人)	負傷 (人)	救助 (人)
計	79	11	30	48	78	9	29	59	1	2	1	-11
下田	2	1		1					2	1		1
松崎					1			1	-1			-1
大仁	1			1	2	1	1		-1	-1	-1	1
三島												
伊東					1			2	-1			-2
熱海					1			6	-1			-6
沼津	3		2	1	1		1		2		1	1
御殿場	23	3	8	16	23	3	7	18			1	-2
富士												
富士宮	28	1	13	17	29	2	11	19	-1	-1	2	-2
清水	2	1		1	1			1	1	1		
静岡中央	18	5	7	9	13	2	9	3	5	3	-2	6
静岡南					1	1			-1	-1		
藤枝												
焼津												
島田	1			1	2			5	-1			-4
牧之原												
菊川												
掛川												
袋井												
磐田												
天竜	1			1	3			4	-2			-3
浜松中央												
浜松東												
浜北												
新居												
細江												

※ 富士山を管轄する御殿場及び富士宮署、南アルプスを管轄する静岡中央署が多い。

8 曜日別発生状況



※ 分散化の傾向が見られる。

9 年齢層別発生状況

区分 年齢層別	り災 人員	死亡	行方 不明	負傷		無事 救出	山系別り災人員		
				重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計	89人	6人	5人	10人	20人	48人	52人	11人	26人
中高年計	52	6	5	7	13	21	24	9	19
15歳未満	3				1	2	3		
15歳～19歳	3					2	3		
20歳～24歳	12				1	11	11		1
25歳～29歳	7			1	3	3	5	1	1
30歳～34歳	9			2	1	6	5	1	3
35歳～39歳	3					3	1		2
40歳～44歳	1				1		1		
45歳～49歳	5	1		1	1	2	3		2
50歳～54歳	9	1		1	3	4	8		1
55歳～59歳	8	1		1	2	4	1	2	5
60歳～64歳	9	2	1	2	1	3	4	2	3
65歳～69歳	9			2	1	6	2	3	4
70歳～74歳	5		1		2	2	3	1	1
75歳～79歳	3	1	1		1		1		2
80歳以上	3		2		1		1	1	1



10 居住地別発生状況

居住地別	区分	り災 人員	死亡	行方 不明	負傷		無事 救出	山系別り災人員		
					重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計		89人	6人	5人	10人	20人	48人	52人	11人	26人
静岡県		27	1	4	1	3	18	7	1	19
東京都		11	3		1	3	4	7	1	3
神奈川県		11			3	3	5	5	2	4
千葉県		5			1	2	2	4	1	
埼玉県		2	1				1	1	1	
群馬県		2				2		2		
茨城県		1					1		1	
新潟県		1			1			1		
愛知県		6			1	3	2	5	1	
三重県		1					1	1		
石川県		3				1	2	3		
大阪府		2			1		1	1	1	
兵庫県		3				1	2	3		
和歌山県		2					2	2		
滋賀県		1	1					1		
広島県		4					4	4		
岡山県		1			1				1	
福岡県		2		1			1	1	1	
青森県		1					1	1		
外国人	フランス	1				1		1		
	オーストラリア	1				1		1		
	イギリス	1					1	1		

※ 外国人は居住地でなく国籍とした

11 男女別発生状況

性別	区分	り災 人員	死亡	行方 不明	負傷		無事 救出	山系別発生人数		
					重傷	軽傷		富士山	南アルプス	その他
計		89人	6人	5人	10人	20人	48人	52人	11人	26人
男性		74	6	5	7	15	41	46	8	20
女性		15			3	5	7	6	3	6

12 登山計画書提出状況一覧表(平成23年中)

		富士山	南アルプス	その他	計
1月	一般	1件	1件	8件	10件
	ツアー会社			23件	23件
2月	一般	2件	1件	3件	6件
	ツアー会社	1件		31件	32件
3月	一般				0件
	ツアー会社			27件	27件
4月	一般	1件		1件	2件
	ツアー会社			24件	24件
5月	一般	3件	2件	5件	10件
	ツアー会社	1件		28件	29件
6月	一般	5件		5件	10件
	ツアー会社	20件	1件	14件	35件
7月	一般	10件	9件	3件	22件
	ツアー会社	19件	10件	4件	33件
8月	一般	9件	17件	1件	27件
	ツアー会社	37件	28件	2件	67件
9月	一般	6件	8件	2件	16件
	ツアー会社	7件	19件	3件	29件
10月	一般	2件	3件		5件
	ツアー会社	3件		15件	18件
11月	一般	2件	1件	4件	7件
	ツアー会社	1件		25件	26件
12月	一般	1件	1件	4件	6件
	ツアー会社			22件	22件
計	一般	42件	43件	36件	121件
	ツアー会社	89件	58件	218件	365件

※ 警察本部提出分に限る。

13 県警山岳遭難救助隊の年別出動状況

所属別	総数		富士山		南アルプス		その他	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
平成19年	22回	124人	12回	44人	4回	40人	6回	40人
平成20年	31	137	19	47	4	38	8	52
平成21年	45	212	27	125	4	26	14	61
平成22年	49	239	29	155	4	35	16	49
平成23年	45	262	31	115	6	51	8	96

※ 延べ出動人員は過去最高を記録